

■ 富士北麓の家 【住宅建築の部門】



選評

富士北麓の白樺、ブナ、コブシなど落葉樹林が生育する起伏のある敷地に建つ、住宅兼ゲストハウスである。

建物本体は、概ね長方形であるが西側外壁面を斜めとして、内部空間に変化を与えている。

エントランスで公的空間と私的空間が明確に分けられており、リビングルームの高い天井からは壁に添って自然光が降り注ぎ、室内空間に光による楽しい演出が施されている。

外壁は杉板で覆われており、色彩は富士山の溶岩（富士砂）に由来する黒色である。

夕闇迫る頃、波打つような敷地に同調した傾斜屋根の建物が、樹林の中で影のように姿を変えてゆく。

所在地：鳴沢村
建築主：T氏
設計者：岡田哲史建築都市計画研究所
施工者：俣井出工業
構造・階数：木造 地上2階
延べ面積：131.53㎡

■ 翠苑【住宅建築の部門】



選評

坊ヶ峰を越えると、緑豊かな畑地が広がっている。そこに築240年の民家を移築再生したものである。

民家の持つ自由な空間と時を経て持ち得た風格、これに現代の機能を持たせ、更に50年100年先の人々に伝えようとする建築主と設計者の心意気を感じられる。

黒光りしている太い柱や梁はよみがえり、屋根裏が見える玄関の吹き抜けや1階和室の続き間は、奥行きのある広い空間を創り出している。

古き良き民家の素材と新しい素材が巧みに取り込まれた建物である。

所在地：境川村（現笛吹市）
建築主：T氏
設計者：建築設計室アトリエ風 渡邊精一
施工者：旬匠建築工房
構造・階数：木造一部RC造一部S造 地上2階 地下1階
延べ面積：498.53㎡

■ SANKYO 河口湖保養所一 I【一般建築物等の部門】



選評

富士北麓の赤松や唐松に囲まれた大自然の中に建つ、コンパクトで戸建て住宅風計画された保養所である。

建物のコーナーは突き合わせの開口部とし、豊かな自然を取り込める開放的な室内空間となっている。

2階のリビングルームなどの小屋組はあらわしで、部屋の中心に4本の丸柱が立ち、それに梁を井桁状に組み上げて、化粧丸太の垂木を支えている。

優れた建築技術に裏打ちされた個性的でモダンな作品である。

所在地：鳴沢村
建築主：榊三共クリエイト
設計者：榊プランテック総合計画事務所
施工者：榊水澤工務店
構造・階数：RC造一部木造 地上2階
延べ面積：276.13㎡

■ 須玉町農村総合交流ターミナル「ふれあい館」【公共建築物等の部門】



選評

集う人々が和むことができる親しみのある複合施設である。エントランスホールを中心に研修棟、展示場、ホール棟が機能的にL型状に配置されている。

建物は、眺望・日照・通風に優れ、外部には様々な行事が行える交流広場が設けられている。

図書館の内装は県産材の天然唐松材で落ち着いた空間を創り出している。

内部の各機能がそれぞれ異なった屋根の形として外観に現れ、周囲の山並みに調和し、町の新たなランドマークとなっている。

所在地：須玉町（現北杜市）
建築主：須玉町
設計者：榊梓設計
施工者：早野組・長田組土木JV
構造・階数：RC造一部SRC造 地上2階
延べ面積：4,870.94㎡

■ 原茂園【良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門】



選評

明治30年代に建築された養蚕農家住宅を、大規模な改修を行って店舗併用住宅にと再生した建物である。

築100年以上過ぎた建物は勝沼の集落の中に、今再び重厚な光を灯してよみがえった。

周辺のブドウ畑の風景に溶け込み、暖かみのある雰囲気醸しだしている。

所在地：勝沼町（現甲州市）

建築主：F氏

設計者：榑石川工務所一級建築士事務所 伝匠舎

施工者：榑石川工務所

構造・階数：木造 地上2階

延べ面積：489.00㎡
